

令和4年3月

小林市議会定例会提出議案説明書

提案理由をご説明する前に、本市が発注した指名競争入札に係る報道につきましては、市議会をはじめ市民各位に大変なご心配をおかけしているところであります。

このことは誠に遺憾であり、市といたしましても、事件の全容解明に向けて、全面的に捜査に協力してまいる所存であります。

それでは、本定例会は私の任期最後の議会でありますので、まず、この4年の任期を振り返らせていただきます。

現在までの市政運営につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いているところではございますが、市議会をはじめ市民各位のご協力により円滑に推移しておりますことを、

心から感謝申し上げます。

さて、私は「対話と決断」を政治姿勢に、「市民が笑顔になれる小林市」を目指し、「医療・福祉・教育・子育て支援」、「安心安全で魅力ある元気なまちづくり」、「地場産業の振興と雇用促進対策」、「スポーツ・文化活動の支援」の4つを大きな柱として、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、市民目線の市政運営に全身全霊を傾け、取り組んでまいりました。

まず、1つ目の柱である「医療・福祉・教育・子育て支援」についてであります。

私は、市民がいつまでも笑顔で明るく元気に生きがいを持ち、輝いて暮らすためには健康であることが重要であると考えてること

から、本市の最重要施策として「健幸のまちづくりの推進」を掲げ、その基本方針の策定や、新たに「こばやし健幸ポイント事業」を実施するなど、将来的な社会保障費の抑制にもつなげるべく事業を展開してきたところであります。

また、医療体制の整備につきましては、西諸医師会をはじめ関係機関との連携を強化するとともに、宮崎大学に寄附講座を設置するなど、市立病院の機能強化と医師確保に努めてきたところであります。

福祉行政につきましては、外出支援を必要とする高齢者、障がい者等に対するタクシー料金の助成を拡充し、在宅福祉の向上を図ったところであります。

教育環境の整備につきましては、市内の全小・中学校において1人1台のタブレット型パソコンの導入を実現するなど、ICT教育の整備を推進するとともに、トイレの洋式化など学校施設の整備も着実に進んでまいりました。

さらに、子育て支援につきましては、少子化が社会問題化している中において、中学校卒業までの医療費助成の拡充や子育て情報アプリの導入など、その充実を図ってまいりました。

次に、2つ目の柱である「安心安全で魅力ある元気なまちづくり」についてであります。

防災・減災対策につきましては、記録的な大雨に伴う大規模な土砂災害の発生や、霧島

連山における新燃岳及び硫黄山の火山活動の活発化、南海トラフ巨大地震等の発生にも警戒を強める必要があることから、市内全域に同報系防災行政無線を整備し、各家庭や施設等に防災ラジオを配付するとともに、小林市地域防災センターを設置するなど、危機管理体制の更なる充実を図ったところであります。

また、情報格差の解消につきましては、市内全域に高速情報通信網を整備し、市民生活の利便性向上等を図ったところであります。

なお、市内の各地域に設立されておりますきずな協働体につきましては、継続的な支援を行ったところですが、自主的かつ精力的な活動により実績を上げており、地域活性化や

自立運営に向けての今後の展開に期待を寄せているところであります。

次に、3つ目の柱である「地場産業の振興と雇用促進対策」についてであります。

西諸地区畑地かんがい事業につきましては、悲願でありました浜ノ瀬ダム建設をはじめとする国営事業が完工し、本市の農業振興に弾みがつき、食料生産基地としての期待が更に高まっているところであります。

畜産業の振興につきましては、令和元年10月に「全国和牛ハイスクールサミット in こばやし」を開催し、畜産を学ぶ若い担い手の意欲の向上を図るとともに、本市が「畜産のまち」であることを全国にアピールしたところであります。

企業誘致の推進につきましては、この4年間で5社、6件の企業立地協定を締結したところであり、地場産業の振興と安定的な雇用機会の拡大を図るために取り組みを進めてきたところであります。

観光事業の活性化につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光入込客数の減少を余儀なくされているところではありますが、生駒高原やすきむらんどでのワーケーションの取り組みに加え、出の山公園での新たな観光体験メニューの開発など、観光DMOによる観光地域づくりが進んでおり、着実に成果を上げてきたところであります。

次に、4つ目の柱である「スポーツ・文化

活動の支援」についてであります。

スポーツ施設につきましては、小林総合運動公園市営陸上競技場や大塚原運動広場などの整備を行うとともに、老朽化の進んだ市民体育館につきましては、その整備の在り方を様々な角度から検討し、体育館機能、健康づくり機能、子育て支援機能及び避難所機能を備えた複合型の総合体育施設を新築する方針を固め、現在、「健幸のまちづくり拠点施設」の整備に向けた基本計画の策定を進めているところであります。

また、小野湖におけるボート競技等の振興を図るため、連絡道路の整備を行い、多くの競技者や観光客等に利用いただいたところであります。

なお、コロナ禍により、一昨年度末から各種イベントが軒並み中止を余儀なくされている状況にあります。去る令和3年12月5日に、2年ぶりとなる「市民スポーツ祭第70回こばやし駅伝競走大会」を開催し、各チームの選手の皆様の力走に多くの感動を受けたところでもあります。

最後に、新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、令和元年12月以降、世界中でまん延し、国内におきましても、未曾有の状況に追い込まれたところでもあります。

本市におきましては、対策本部を設置し、小林市の基本的対応方針に基づき、その対応

に当たっているところでございますが、現時点において、市内で爆発的な感染を抑えることができておりますことは、医療や福祉の現場の最前線で業務に従事されている皆様や、市民の皆様、事業者の皆様のご理解とご協力によるものであると、改めて心から感謝を申し上げます。

また、新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、西諸医師会をはじめ各医療機関のご協力のもと、接種対象者のうち約9割の方が2回目のワクチン接種を完了しているところであり、3回目の接種につきましても、昨年12月から順次開始をしているところでもあります。

さらに、経済対策につきましては、小林市「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」

に基づき、市民の皆様の生活と地域経済を全力で支援しているところでもあります。

なお、このコロナ禍で実施いたしました「こぼやしの人とまちが輝く！元気と笑顔創出事業」につきましては、逆境の中でも本市の底力を感じる事業となりました。

参画いただいた市民の皆様の、ふるさと小林に対する思いを感じたところです。

この成果は、ウィズコロナ・ポストコロナにおいて、本市の魅力創出に効果を発揮するものと確信しているところでもあります。

以上が私の任期中の総括であります。市長就任時に約束として掲げました項目を1つ1つ着実に進めてまいりました。

一般会計の市債残高も、平成29年度末と比較して約10億円減少させ、必要な投資を行いながらも将来の負担軽減に努めるなど、行財政改革の成果も現れてきております。

これらの成果は、市議会をはじめ市民各位のご協力の賜であり、重ねて御礼を申し上げる次第であります。

なお、平成から令和へと時代が変化した4年間の市政運営において私自身が感じているのは、地域経済発展と財政健全化による官民一体となった持続可能なまちづくりの推進が必要である、ということでございます。

今後の市政運営は、市民の笑顔につながる施策展開に努める一方で、この大きな課題と

向き合い、適時様々な決断を下さなければならぬと強く感じているところでもあります。

今後とも、市政運営に関し、市議会をはじめ市民各位のご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、以下、議案について、ご説明を申し上げます。

報告第3号専決処分の承認を求めることにつきましては、地域経済緊急支援事業に係る経費について予算措置を直ちに講ずる必要があったため、令和3年度小林市一般会計補正予算第19号について、令和4年2月11日付けで専決処分いたしましたので、議会に報告し、その承認を求めるものであります。

議案第4号令和3年度小林市一般会計補正予算第20号につきましては、決算見込みに伴う所要額の調整、国県補助事業費の確定による補正が主なものでありますが、基金積立金等の計上により、歳入歳出それぞれ16億6,058万3,000円を増額し、予算規模は326億4,150万7,000円となります。

まず、歳入につきましては、地方交付税、県支出金等を追加する一方、市債等を減額計上いたしました。

次に、歳出の主なものをご説明申し上げます。

総務費につきましては、勸奨退職等に伴う退職手当、減債基金等への積立金等を計上

いたしました。

農林水産業費につきましては、畜産農家等で構成される畜産クラスター協議会が実施する施設整備に対する補助金等を計上するものであります。

なお、電子計算処理管理費ほか15事業につきましては、やむを得ない事情により年度内での完了が見込めませんので、予算執行の適正化を図るため、繰越明許費として予算計上するものであります。

議案第5号令和3年度小林市国民健康保険事業特別会計補正予算第4号につきましては、特別調整交付金を財源とした小林市立病院への繰出金等を計上する一方、決算見込みに伴う所要額の調整により、歳入歳出それぞれ

1, 943万2, 000円を減額するものであります。

議案第6号令和3年度小林市農業集落排水事業特別会計補正予算第1号につきましては、決算見込みに伴う所要額の調整により、歳入歳出それぞれ350万円を減額するものであります。

議案第7号令和3年度小林市介護保険事業特別会計補正予算第3号につきましては、施設介護サービス給付費負担金の減額等により、歳入歳出それぞれ1億114万9,000円を減額するものであります。

議案第8号令和3年度小林市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第3号につきましては、事業費の見込み減に伴う後期高齢者

医療広域連合納付金の減額により、歳入歳出それぞれ1,577万6,000円を減額するものであります。

議案第9号令和3年度小林市水道事業会計補正予算第2号につきましては、収益的支出において、訴訟関連委託料401万3,000円を増額するものであります。

議案第10号令和3年度小林市病院事業会計補正予算第1号につきましては、収益的収入においては、新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確保支援事業費補助金等の収入の増加に伴い、医業外収益1億3,085万4,000円を増額するものであります。

資本的収入においては、日本財団支援金

事業等の収入の増加に伴い、支援金等
1,120万8,000円を増額するもので
あります。

議案第11号令和4年度小林市一般会計
予算につきましては、歳入歳出それぞれ
259億8,000万円を計上いたしました。

なお、令和4年度の当初予算につきましては
は、骨格予算であり、市長選挙後の6月補正
予算が肉付け予算となることを、あらかじめ
申し添えます。

令和4年度の当初予算は、前年度の当初
予算と比較いたしますと、2億3,000万
円の減額で、0.9パーセントの減となりま
した。

まず、歳入についてご説明を申し上げます。

自主財源総額 87 億 9,767 万円の約 55 パーセントを占める市税につきましては、47 億 9,542 万 5,000 円を計上し、前年度と比較いたしますと 2 億 7,230 万円の増額を見込んでおります。

また、ふるさと納税による寄附金を原資とする未来まち創生基金につきましては、ご寄附をいただいた方々の小林市に対する思いを受け止めまして、将来を担う子ども達の育成に資する、学校給食費の負担軽減や医療費の助成等、子育て支援の事業を中心に活用いたします。

依存財源につきましては、地方交付税、国県支出金、市債等総額 171 億 8,233

万円を計上いたしました。

投資的経費の減額等に 伴い、市債が 1 3 億 5, 6 5 9 万 2, 0 0 0 円の減額となっております。

次に、歳出についてご説明を申し上げます。

義務的経費につきましては、定年退職者の増等を見込みまして、前年度と比較いたしますと 1. 2 パーセントの増となる 1 3 6 億 3, 8 5 1 万 2, 0 0 0 円を計上いたしました。

また、投資的経費につきましては、6 億 7, 8 9 5 万 3, 0 0 0 円を計上いたしました。

次に、歳出の主な事業をご説明申し上げます。

総務費につきましては、こばやしの人とまちが輝く！元気と笑顔創出事業費、ふるさと納税推進事業費等を計上するものであります。

民生費につきましては、保育士等処遇改善臨時特例事業費、子ども医療費助成事業費等を計上するものであります。

衛生費につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業費等を計上するものであります。

農林水産業費につきましては、全国和牛能力共進会事業費等を計上するものであります。

す。

令和4年度に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会への出品等に対する支援を行ってまいります。

商工費につきましては、地域経済緊急支援事業費等を計上するものであります。

土木費につきましては、社会資本整備総合交付金事業費等を計上するものであります。

消防費につきましては、消防団運営事業費等を計上するものであります。

教育費につきましては、てなんど小林学校給食応援事業費等を計上するものであります。

災害復旧費につきましては、災害発生時に緊急対応するための測量設計委託料や工事請負費等を、公債費につきましては、長期借入金元利償還金等を、諸支出金につきましては、土地購入費を計上するものであります。

議案第12号令和4年度小林市国民健康保険事業特別会計予算につきましては、歳入歳出それぞれ62億3,380万円を計上するものであります。

特定健康診査につきましては、受診率の向上を目指し、未受診者への受診勧奨を引き続き実施いたします。

また、国民健康保険税の収納率の向上に向けた取り組みを強化し、国民健康保険事業の円滑な運営に努めてまいります。

なお、国民健康保険税の税率等につきましては、例年どおり 6 月議会定例会においてご審議いただく予定としております。

議案第 1 3 号令和 4 年度小林市物品購入特別会計予算につきましては、物品の効率的な購入と集中管理を図るための経費として、歳入歳出それぞれ 1 5 0 万円を計上するものであります。

議案第 1 4 号令和 4 年度小林市農業集落排水事業特別会計予算につきましては、一般管理費、長期借入金元利償還金等、歳入歳出それぞれ 2 億 2 , 0 1 2 万 2 , 0 0 0 円を計上するものであります。

議案第 1 5 号令和 4 年度西諸地域介護認定

審査事業特別会計予算につきましては、西諸地域で共同して介護認定審査業務を行うための経費として、歳入歳出それぞれ3,312万8,000円を計上するものであります。

議案第16号令和4年度小林市介護保険事業特別会計予算につきましては、保険給付費のほか、介護予防・生活支援サービス事業費、包括的支援事業・任意事業費等、歳入歳出それぞれ61億4,621万3,000円を計上するものであります。

議案第17号令和4年度小林市後期高齢者医療事業特別会計予算につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金等、歳入歳出それぞれ12億6,274万5,000円を計上するものであります。

議案第 18 号令和 4 年度西諸地区いじめ問題対策専門家委員会特別会計予算につきましては、委員会の開催に必要な経費として、歳入歳出それぞれ 13 万 3,000 円を計上するものであります。

議案第 19 号令和 4 年度小林市水道事業会計予算につきましては、収益的収入においては、料金収入等 8 億 6,794 万円を、収益的支出においては、水道施設修繕費等 9 億 1,949 万 2,000 円を計上するものであります。

資本的収入においては、企業債、消火栓設置負担金等 4 億 2,336 万 6,000 円を、資本的支出においては、老朽管布設替えの工事請負費、企業債償還金等 6 億

6,062万6,000円を計上するものであります。

議案第20号令和4年度小林市下水道事業会計予算につきましては、収益的収入においては、料金収入等5億7,525万4,000円を、収益的支出においては、下水道施設維持管理費、修繕費等5億4,606万1,000円を計上するものであります。

資本的収入においては、企業債、国庫補助金、受益者負担金等3億6,194万5,000円を、資本的支出においては、管路建設の工事請負費、企業債償還金等5億1,881万円を計上するものであります。

議案第21号令和4年度小林市病院事業

会計予算につきましては、収益的収入においては、入院収益等 28 億 6,974 万 6,000 円を、収益的支出においては、給与費等 28 億 9,582 万 8,000 円を計上するものであります。

資本的収入においては、医療器械器具購入に伴う企業債等 1 億 1,509 万 2,000 円を、資本的支出においては、企業債償還金、固定資産購入費等 2 億 9,061 万 6,000 円を計上するものであります。

議案第 22 号小林市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定につきましては、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づき、対象施設を設置した事業者に対して行う固定資産税の課税の免除

に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するものであります。

議案第23号小林市空家等の適正管理に関する条例の制定につきましては、空家等対策の推進に関する特別措置法との一体的な運用により、市内の空家等の適正な管理等を促進するため、条例を制定するものであります。

議案第24号小林市公平委員会委員の服務の宣誓に関する条例の一部改正及び議案第25号小林市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正につきましては、公平委員及び職員の服務の宣誓の際に、対面での署名等を不要とするため、所要の改正を行うものであります。

議案第26号職員の育児休業等に関する条例の一部改正につきましては、非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和等を行うため、所要の改正を行うものであります。

議案第27号小林市国民健康保険税条例の一部改正につきましては、全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、未就学児に係る国民健康保険税の被保険者均等割の減額等を行うため、所要の改正を行うものであります。

議案第28号小林市使用料の徴収に関する条例の一部改正につきましては、小林市コワーキングスペース内のレンタルオフィスの一時利用に係る使用料を定めるため、所要の改正を行うものであります。

議案第 29 号シルバーランド望峰の里の設置及び管理に関する条例の一部改正につきましては、小林第二在宅介護支援センターの機能を移転することに伴い、当該施設及び設備の財産上の取扱いを西部いろり村に編入するため、所要の改正を行うものであります。

議案第 30 号小林市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正につきましては、本市消防団員の処遇の改善に向けて報酬の額を見直すため、所要の改正を行うものであります。

議案第 31 号公平委員会の委員の選任につきましては、酒匂 重成氏を公平委員会の委員に選任することについて、議会の同意を

求めるものであります。

議案第32号から議案第36号までの
小林市情報公開・個人情報保護審査会の委員
の委嘱につきましては、大塚 幸治氏、
伊藤 美智子氏、鬼塚 一郎氏、内竹 葉子
氏及び亀田 一也氏を小林市情報公開・個人
情報保護審査会の委員に委嘱すること
について、議会の同意を求めるものであります。

諮問第1号人権擁護委員の候補者の推薦に
つきましては、若松 照雄氏を人権擁護委員
の候補者として法務大臣に推薦すること
について、議会の意見を求めるものであります。

なお、今後、新型コロナウイルス感染症
対策に係る予算措置等が必要となった場合に
は、速やかに関係議案を追加提案させて

いただくこととしております。

以上、よろしくご審議のほどお願いをいたします。